

各園の今年度目標・特色等(まとめ)

Ⅰ. 西脇こども園

【園長から】

- 園小の取組について西脇は進んでいると思う。
- 今いる職員がそれぞれ自分のベストパフォーマンスができれば良いと思っている。
- 「全てのこどもたちの笑顔のために」というスローガンで長年取り組んでいる。
- 保護者支援については、保護者を甘やかしているわけではない。保護者の気持ちに寄り添うことはできるが、保護者支援はできないと思っている。

《各担任が本年度どのようなクラス作りをしていこうと思っているか》

- ・一人一人の子どもの生理的欲求を十分に満たしながら、生活のリズムを形成していけるようにする。
- ・特定の大人との関わりやスキンシップを十分にとることを通して、一人一人の子どもの甘えなどの依存欲求を満たし、情緒の安定を図る。
- ・子どもたちが安心して過ごせるように、一人一人の気持ちに寄りそう。
- ・子どもの「自分でしたい!」という気持ちを大切にし、主体性を育み「できた!」という達成感と喜びを感じられるようにする。
- ・いろいろなことに興味をもち、「やってみよう」「やりたい」「自分で」という気持ちを育てていく。
- ・友だちとの関わりを広げていく。
- ・体を動かすことの楽しさを感じる。
- ・遊びを通して、友だちとの関わりを増やす。
- ・言葉で伝えようとする姿を見守り、難しい子どもには言葉を補いながら寄り添うことで、言葉で伝える楽しさや大切さを感じられるようにする。
- ・毎日笑顔で過ごすことができるクラスにしたい。
- ・好きを伸ばし、生き生きと過ごす。
- ・友だちとの関わりを増やし、一緒に遊ぶ。
- ・イメージしたものを自分や友だちと表現することを楽しむ。
- ・自分の気持ちを言葉で伝え、友だちの気持ちも受け入れる。
- ・興味があることを調べ、遊びに取り入れていく。
- ・自分の思いを言葉で伝え、友だちの気持ちにも耳を傾ける。
- ・友だちと関わり、一緒に遊んだり助け合う場面を大切にする。
- ・うまくいかないことや難しいと感じる場面でも、「もう一度やってみよう」と前向きに取り組めるようにする。
- ・何事にも諦めず挑戦する。
- ・成功したことをみんなで喜び、悩みをみんなで考える。
- ・友だちと考えたり試したりし、協力しながら1つの目標に向かって取り組む。
- ・自分の意見を伝えながら相手の意見にも耳を傾け、問題を解決する。

2. 比延こども園

【園長から】

- 園の特色や力を入れている部分で大きく変えているところはない。
- 造形活動「やってみよう」も実施している。
- リズム体操も実施。全身を使って動くことができるよう工夫している。
- 職員の人数は変わらず。個々に関わることでできる体制を作っていきたい。
- 臨機応変に職員が連携をとりながら関わっている。子どもは安心して生活できていると思う。
- 安全面が気になるところではある。
- 登降園システムを導入している。保護者連絡で使われている方もある。
- 病児保育のため、2回/週、看護師が勤務している。保健だよりも出している。
- 臨床心理士の先生（子育て支援）にも来てもらっている。相談希望も増えてきており、保護者も安心されているのではと思っている。

《各担当が本年度どのようなクラス作りをしていこうと思っているか》

- ・安心・安全の環境の中、子どもたちが主体的に人・物と関わって自分の興味・関心を広げていけるクラスづくりをしていきたい。
- ・このクラスは身体的な刺激や保育者との関わりを求める姿が多く見られるため、子ども一人一人の欲求を受け止めながら、安心して過ごせる環境を整えることを大切にする。
- ・十分に発散できる場を保障し、自分で気持ちを整える力へとつなげていく。
- ・安心してできる環境の中で、友達と関わる楽しさを感じたり、“やってみよう”と思ったことを自分から楽しめるようにしたい。
- ・一人一人が自分の好きな遊びを見付け、クラスのみんなで共有し、友達のことを知ったり、一緒に楽しんだりしながら友達の良さに気づき、自分らしさも発揮するようなクラスにしたい。
- ・自信をもって自分の思いを表現できるクラスを目指す。
- ・友達の良いところに気づき、認め合える関係づくりを大切にする。
- ・自分の感じたことや気づきを、自分の言葉で表現できるようにする。

3. どれみこども園

【園長から】

- 園の特色や力を入れている部分は例年同様であるが、「教え込む保育、指導はしない」と園内でも共通理解している。
- 体操教室や音楽教室を実施しているが、子どもの主体性を大切に、子どもたちがやりたいこと、やってみようことを見付け出し、それに応じて保育を進めていくようにしている。

《各担当が本年度どのようなクラス作りをしていこうと思っているか》

- ・保育者や友達とスキンシップを楽しみ、一日を機嫌良く安心して過ごせるようにしたい。
- ・子どもたちの“やってみよう”“好き”という気持ちを育てていきたい。

- ・子ども一人一人の気持ちを大切にしながら、安心して過ごせるクラスづくりをしていきたい。“自分でやりたい”という気持ちを受け止め、身の回りのことに挑戦できるようにしていきたい。友達との関わりが広がる時期なので遊びや生活を通して、思いやりの気持ちや一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように援助していきたい。
- ・子どもたちが好きな遊びを思い切り楽しめて、また落ち着いて過ごせるようなクラスにしたい。
- ・子どもたちが毎日来たいと思えるクラス。また、難しいことや、苦手なことにも挑戦し、最後までやり遂げるクラスにしたい。
- ・活動では、少しでも多くの経験をさせたい。
- ・「自分たちで決めて動く」主体性や「みんなで力を合わせる」協同性を深め、友達を思いやれるクラスにしていきたい。

4. 日野こども園

【園長から】

- R7年度に公開保育を2回行った。勉強になり良い機会ではあったが、職員は多忙であった。今年度は新卒の職員を3名迎えたこともあり、無理をしすぎず、無駄なことは省こうと考えている。ビルドビルドにならないようにしたい。担任への負担を減らすため、細かいところから仕組みを変え、職員室で対応できることは対応しようと考えている。
- 運動会についても土曜開催ではなく平日に行う予定である。また、普段から身体を動かす活動を取り入れ長期的に、計画的に取り組むことで子どもや先生の負担を減らしたいと考えている。
- 子どもたち一人一人が生き生きと活動ができるように、真心を込めて保育していきたい。
- 人権感覚を磨いていきたい。人間関係全般に役立つことと考えている。
- 今年度も密に小学校と連携していきたい。
- 就学についての話は、丁寧に対応するようにしている。保護者と落ち着いてゆっくりと話をする場を設けるようにしている。
- できるだけ早い時期に小学校と年間計画を交換し、互いの予定を調整をしている。
- コミュニケーション能力の育成を園小共通のねらいに設定している。今年度も継続してやっていく方針である。

《各担任が本年度どのようなクラス作りをしていこうと思っているか》

- ・安心して過ごせるクラス作り。ゆったりした関わりの中で安心感を育てていきたい。
- ・環境を整え、心地よく過ごせるようにしたい。
- ・子どもの「やってみたい!」という気持ちを大切に興味・関心のあることをたくさん保育に取り入れていきたい。一人一人に応じた援助をしながら、簡単な身の回りのことに興味をもち、やってみようと思えるように関わってきたい。
- ・生活の流れが分かり、自分から進んでしたり保育者に声を掛けてもらったりしながら動けるようにしたい。
- ・自分の思いを保育者や友達に伝えられるようにしたい。
- ・思いやりがあり、みんなが笑っているクラスにしたい。
- ・自信をもって、自分のことを自分で意欲的に取り組もうとし、できる喜びを味わえる環境づくり。
- ・友だちと積極的に関わり、つながりを感じられるような教育・保育をする。

- ・様々なことに興味・関心をもち、やってみようとする。
- ・いろいろなことに興味・関心をもって、主体的に行動できるクラス。
- ・ごっこ遊びや簡単な集団遊びを通して、友だちとイメージを共有し、一緒に遊ぶ楽しさを経験できるクラス。
- ・子ども一人一人の思いや気持ちに寄り添いながら安心して自分を表現できるクラスづくりを目指したい。「やってみたい」という気持ちを大切に。また、相手の気持ちに気づき思いやりをもって関わるができるようにする。
- ・4月の時点でとても落ち着いていて、話がしっかりと聞けているように感じている。今、やるべきことは何なのかを考え、それをきちんとできる4歳児であってほしいと願っている。いろいろなことにチャレンジし「頑張る」1年にしたいと思っている。
- ・いろいろな経験をして、気付いたことを言葉で伝え合ったり、考えたり、試したりしながら学び合える、クラスづくりをしていきたい。
- ・一年間でいろいろな経験・体験をして子ども達と一緒に考えながら、子ども達が、たくさんのことに興味をもったり、様々なことに気付いたりできるようにクラス作りをしていきたい。

5. かすがこども園

【園長から】

- 今年度は「大好きが見つかるコーナーあそび～明日もここでとことん遊ぼう～」をテーマに取り組んでいる。
- 子ども一人一人の気持ちを大切にしていきたい。個々の気持ちや遊びを大切にして「させる」を減らし、「させる」ではなく「やりたい」にしていきたい。
- 今年度から新卒の先生が職員として入ってくれている。また、40名超えの職員集団になった。様々な職種、経験年数の職員集団の中で、全ての先生が生き生きと仕事ができるようにして、気軽に相談ができる関係作りを目指したい。

《各担任が本年度どのようなクラス作りをしていこうと思っているか》

- ・一人一人の生活リズムや気持ちを丁寧に受け止め、安心して過ごせるクラスづくりを大切にしていきたいと考えている。保育者との信頼関係を基盤に、子どもたちが「安心できる場所」と感じられるよう優しく温かな関わりを心がけていきたい。
- ・子どもたち一人一人が安心して自分の思いを表現し、保育者と一緒に好きな遊びを楽しめるようにしていきたい。子どもたちの姿をよく見て遊びや生活の環境を整え、保育者間で連携して保育していきたい。
- ・一人一人の気持ちや発達に寄り添いながら、安心して自分の思いを表現できるようにしていきたい。また、友だちや保育者との関わりややりとりを楽しみながら、遊びを通して心と体を育むクラスにしたい。
- ・一人一人が安心して自分の思いを表現でき、好きな遊びを十分に楽しむことができるようにしたい。友だちにも興味をもっているので、保育者が仲立ちしながら一緒に遊ぶことの楽しさや正しい関わり方を知らせていき、友だちと一緒に楽しいと思えるクラスにしていきたい。
- ・一人一人が安心して過ごし、自分の好きな遊びを見付け、繰り返し楽しむ中で「やりたい」「できた」の気持ちを大切にしながら、友だちや保育者との関わりを楽しめるクラスにしたい。
- ・保育者が一人一人の好きなことや遊びを把握し、個性やそれぞれの好きを生かして自信や満足感が味わえるようなコーナー遊びに取り組んでいる。保育室に好きな遊びがあるから、園に行きたいと思えるように工夫していきたい。

- ・様々なことに興味をもって、自分で考えたり試したりしながら諦めずに取り組めるようにしていきたい。また、好きな遊びを通して自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを知ったりできるように関わりたい。
- ・日々の生活や遊びの中で、楽しいことだけでなく、うまくいかないことや悩むことも大切にしながら、様々な経験につなげていきたい。その中で、一人一人の気持ちに寄り添い、言葉をかけながら関わってきたい。
- ・遊びや生活の中で自分の思いや考えを相手に伝え、受け入れてもらえたうれしさを感じたり友だちの良さを知ったりしながら、一人一人が自分らしさを出せるクラスにしていきたい。
- ・失敗したくないと思っている子が多く、不安から保育者に確認する姿が見られるため、失敗を経験する中で対応方法や自分で考える力を育てていきたい。
- ・保育者にたくさん認めてもらう中で、活動に自信をもち、繰り返し取り組む楽しさや、様々な気付きに出会う楽しさ、友達と一緒に遊ぶ楽しさをたくさん感じてほしいと思っている。

6. つまこども園

【園長から】

- 基本理念「明るい声と笑顔あふれるこども園」は変わらない。
- 基本方針の「子ども・保護者の声を丁寧に受け止め、信頼関係を深める」を第1に考えている。
- 職員同士の対話による関係づくり、情報共有を大切にしている。
- ES研修（従業員満足度（Employee Satisfaction）の向上）を実施。職場に対しての意見を聞き（アンケート）、第3者に入ってもらう。
- 教育・保育の質の向上が一番大切だと思っている。中身が大事。
- 運営面についての支援もお願いしたい。

《各担任が本年度どのようなクラス作りをしていこうと思っているか》

- ・子どもたちを取り巻く大人、保育士・栄養士・看護師が連携し、職員が発達の過程に見通しをもちながら、何に興味を示しているのかを考え、常に子どもたちの目線に立ち、探索活動などが十分にできる環境を提供していきたい。
- ・子どもが安心して過ごせる和やかな環境と興味・関心を引き出すような環境を用意し、こども園が大好きと感じられるようにしていきたい。子どもの育ちに常に寄り添って保育し、見守りながら、自分自身を表現する自我を大切に関わってきたい。
- ・一人一人の思いや発達を大切にし、安心して自分の気持ちを表現できるクラスづくりをしていきたい。友達との関わりの中で、簡単な言葉のやりとりをしたり、やりとりの楽しさを感じられるようにしていきたい。
- ・安心してこども園に通い、保育者や友達に興味をもって関わりながら過ごせるようにしていきたい。友達と一緒に遊ぶ楽しさが分かる反面、やりとりが難しいこともまだあると思うので、子ども同士で伝え合えるような支援をしていく。
- ・話を聞く力を育てながら、活動と生活にメリハリのある保育を心がけていきたい。また、身の回りのことに主体的に取り組めるように援助し、友達との関わりを通して相手の気持ちに気付き、思いやりの心を育ていけるようなクラス作りを目指していきたい。
- ・友達と助け合いながら、様々なことに挑戦する中で、思いやりの気持ちを育み、互いを認め合えるクラスづくりをしていきたい。また、自分の思いや考えをしっかりともち、相手に伝えたり行動に移したりする力を育てていきたい。

7. 芳田こども園

【園長から】

- 4月から順調に子ども達も成長している。
- 保育業務支援ソフト「ハピーナ」を活用し、保護者と情報共有をしている。
- 園の課題は、10の姿に対する理解促進を図ることである。昨年度は、自園独自のアプローチカリキュラムを作った。今年度は、それを土台に6月から研修を始める予定。
- 昨年度と同じ取組を繰り返すのではなく、子どもの姿をよく見た上で本年度の取組を考えると良いと思っている。

《各担任が本年度どのようなクラス作りをしていこうと思っているか》

- ・安心して過ごせる環境の中で、一人一人の発達段階を把握し、身近な物への興味や関心をもてるようにしていきたい。また、抱っこや優しい語りかけを通して保育者との信頼関係を築いていきたい。
- ・食事、排泄、着脱など基本的な生活習慣に対して自分でしようとする意欲が育ち、身に付いていけるようにしていきたい。
- ・安心して育める環境の中で自分の思いを十分に受け止めてもらい、言葉やしぐさで表現できるようにしていきたい。
- ・身の回りのことを自分でできるように身の自立を促していきたい。
- ・意欲的な子が多いので、運動遊びや感触遊びなどいろいろな遊びを経験できるようにしていきたい。
- ・友だちと一緒に遊ぶ経験を増やしながらかかわり方や言葉のつかい方を伝えていきたい。
- ・子どもたちが安心して自分の思いを出しながら「やってみたい」と感じたことに自分から挑戦できるクラスづくりをしたい。一人一人の姿に寄り添いながら、成功体験を積み重ねていくなかで、友だちと関わり、達成感を味わえるような環境を整えていきたい。
- ・今は自分中心で思いを押し通そうとする姿があるため、グループ活動を多く取り入れることで友だちと一緒に協力して活動したり、思いやりをもって譲り合ったりできるようなクラスづくりをしていきたい。

8. 黒田庄こども園

【園長から】

- 園で意識して取り組むこと、目指す特色等は大幅には変わらない。
- 自己評価の1～8の項目については、本年度の取組として特に力を入れようと思っていることについて項目ごとに全て記入している。(全ての項目について説明あり)

《各担任が本年度どのようなクラス作りをしていこうと思っているか》

- ・子どもたちが安心して過ごすことができるように、スキンシップをたくさんとり気持ちを受け止め、一人一人の生活リズムを大切にする。
- ・発達や興味・関心を意識しながら、感覚遊びを取り入れて保育を進めていく。
- ・一人一人が安心して過ごせるように、子どもたちの気持ちに寄り添っていきたい。
- ・一人一人の個人差はあるが、基本的な生活の流れを作っていきたい。

- ・自分の気持ちや要求（かして、やめて、やって、ありがとう、ごめんね等）を言葉で言えるようになってほしい。
- ・子どもたちが安心して自己表現ができる環境を作っていきたい。
- ・友達と遊ぶことや集団でいることが楽しいと、一人一人が感じられるようなクラスにしたい。
- ・身の回りのことを自分でしようとする中で、困ったことや要求を言葉で言えるようになってほしい。
- ・テーマは『自由と自立』
 - ①自由…やってみたいことをどんどんする。自分の個性を出す。
 - ②自立…自分の事は自分でする。自分で考えて行動、発言する。
- ・昨年度に引き続き同じメンバーのクラスだが、マンネリにならないように、子どもたちの興味関心を保育の中で広げて進めていきたい。子どもたちの「良い所探し」は続けていき、些細なことでもたくさんの「いいね」を子どもたちに伝えていきたい。